

## 8月下旬から10月実施の主な行事について

### ・ライトアッププロムナード なら2012

日 時：7月14日（土）～9月30日（日）

午後7時00分～午後10時00分

場 所：東大寺・奈良国立博物館・仏教美術資料研究センター・春日大社一之鳥居  
浮見堂・興福寺五重塔・猿沢池・平城宮跡朱雀門第一次大極殿・薬師寺

内 容：世界遺産をはじめ歴史的建造物をライトアップし、昼間とは違った表情  
を演出し、あわせてライトアップコンサートなどのイベントを開催

### ・平城京天平祭☆夏2012 ～ようこそ光の宮跡へ～

日 時：8月24日（金）～8月26日（日）

午後6時30分～午後9時00分（夏の夜市は午後4時から）

場 所：平城宮跡

主な内容：大極殿周辺・・・燈花会・音と光の祭典・バサラ祭りステージ  
天平衣装体験・光の作品展

佐伯門周辺・・・夏の夜市・こども縁日・ステージ・光の小道

その他・・・光の天平行列・ひかる朝堂院・参加型影絵

### ・2012バサラ祭り ～天を照らす、舞の輝き～

日 時：8月25日（土）～8月26日（日）

両日とも午後から夕方にかけて

場 所：東大寺・薬師寺会場・三条通り春日参道会場・JR奈良駅会場  
近鉄西大寺駅会場・平城宮跡会場

### ・采女祭 ～古都ならの夜の祭典～

日 時：9月29日（土）～9月30日（日）

・29日 宵宮 午後5時から

・30日 花扇奉納行列 午後5時から

花扇奉納神事 午後6時から

管絃船の儀 午後7時から

場 所 ・宵宮、花扇奉納神事・・・采女神社  
・花扇奉納行列・・・JR奈良駅から猿沢池  
・管絃船の儀・・・猿沢池

## ・その他の行事

### 地蔵会万燈供養／元興寺（8月23日～24日）

地蔵盆に合わせて行われる行事で、本堂の智光曼荼羅の前に地蔵菩薩2体を祀り、堂内に各地から奉納される書画を貼った献灯揮毫行灯が掲げられます。無病息災を祈願した法要の後、境内の浮図田（ふとでん）にて万燈供養が行なわれます。

### 特別展奉祝「頼朝公と重源上人の絆 小笠原流射礼」／東大寺大仏殿（8月25日）

鎌倉市・奈良市の観光交流宣言締結に基づき、鎌倉市、奈良市で行なう伝統行事交流のひとつ。奈良国立博物館で開催中の「頼朝と重源 東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆」にちなみ、源頼朝公の弓馬術師範であった小笠原流の作法を継承している弓馬術礼法小笠原教場が、大仏殿院中庭に重源上人が植えられたという菩提樹を後ろにした大的に奉射することで、鎌倉と奈良の絆がより一層強く繋がることを祈念するものです。

### 観月讚仏会／唐招提寺（9月30日）

開祖、鑑真和上を奉安する御影堂の庭園が特別に開放され、和上と共に名月を愛でる法要が行われます。

### 十七夜二月堂盆踊り／東大寺二月堂（9月17日）

毎年9月17日（旧暦8月17日）、堂内に万灯明を灯して「十七夜（じゅうしちや）」の法要が行われます。またこの日堂下の広場では、「十七夜盆踊り」も開催されます。二月堂の「十七夜盆踊り」は平成5年に復興されたもので、二月堂下の広場で行われ、観光客も自由に参加することが出来るため、踊りの輪に加わる外国人観光客の姿も見られます。奈良ではこの「十七夜盆踊り」が「盆踊りの踊り納め」であったといわれていました（「関西の踊りじまい」とも）。午後6時から二月堂本堂で法要が営まれ、盆踊りは午後6時30分から9時頃まで行われます。

### 志貴親王御忌／白毫寺（9月17日）

白毫寺は志貴親王の高円山の別荘を没後に寺に改めたものと言われていています。昭和55年に志貴親王への追悼の意を込めた笠金村の万葉歌碑が境内に建てられたのを機に、敬老の日に追慕の法要を行うようになりました。献花式と法要が午前10時から行われています。

### 例祭の舞楽／氷室神社（10月1日）

氷室神社は我が国三雅楽所の一つ、旧南都楽所の本拠地です。氷室神社伝来の南楽舞楽11曲が、篝火の中、徳川将軍家寄贈の舞楽殿で奉納されます。

### 光明真言土砂加特法要／西大寺（10月3日～5日）

本尊・釈迦如来の前に、奥の院から採取された土砂を安置し、光明真言の功德で加持するとともに、鎌倉時代から現代までの西大寺と縁のある人々の名を記した過去帳を読み上げる法要を行います。この行事は、3日間昼夜不断で行われます。

### 転害会／手向山八幡宮（10月5日）

転害会は、奈良時代に宇佐八幡宮を勧請し鎮守八幡宮を創建した際に、八幡神が転害門を通過して鎮座された様子を再現した祭礼であり、現在は八幡宮本殿と転害門で法要が行われています。また法要後に明治初年の神仏分離・廃仏毀釈によって東大寺に移された手向山八幡宮ご神体の国宝・僧形八幡神坐像が特別開扉され、拝観することができます。

### 翁舞／奈良豆比古神社（10月8日）

例大祭の前日夜に行われる翁舞です。もともと神に捧げる舞として行われたもので、その所作に能・狂言の発達以前の大和猿楽の古い形が残っており、国の無形民俗文化財に指定されています。

### 天武忌法要・万燈会／薬師寺（10月8日）

約1,000基の置き燈籠に灯りをともし、薬師寺の建立を発願した天武天皇を偲ぶ行事。11時30分より金堂前で十二神将供養と大般若経転読法要、14時30分より不動堂前で柴燈大護摩、18時30分より金堂で天武忌法要が厳修されます。

### 鹿の角きり／春日大社境内内 鹿苑（10月6日～8日）

江戸初期の寛文年間（1671年）に住民の危険防止と樹木の保護のために始められた伝統行事です。

オスジカの角は毎年生え変わり、4月頃から新しく生え出した角が、秋（10月頃）に大きく成長するため、この頃に角きりを実施します。この行事は、勢子といわれる人たちが角きり場にシカを追い込み、跳ねながら逃げ回るシカをとりおさえて、神官がノコギリで角を切り落とすという、古都の秋を彩る勇壮なものです。

### 題目立／都祁の八柱神社（10月12日）

秋祭りの宵宮に奉納される、室町時代にはすでに行われていた民俗芸能で国の重要無形文化財の指定を受け、ユネスコの世界無形遺産にも登録されています。音楽も所作も伴わず、独特の節回しで語られる素朴なもので、語りものが舞台化した初期の形を伝えている点が珍しく、中世の芸能の姿をうかがわせるものです。「巖島」「大仏供養」「石橋山」と源平合戦を題材にした3曲の台本が遺されています。

#### 秋の大茶盛／西大寺（10月14日）

延応元年（1239）西大寺中興開山・興正菩薩叡尊上人が西大寺八幡社頭で行った茶儀に由来したものです。巨大な茶わんに点てた抹茶を隣席のお手伝いをいただきながら参列者がいただく様子が和やかな茶会です。

#### 大仏さま秋の祭り／東大寺（10月15日）

天平15年（743）10月15日に「人々の幸せを願って大仏様を造ろう」と「詔（みことりの）」が出されたことにちなむ祭りで、献茶式や鏡池に設えた舞台で能が奉納されます。

#### 大般若経転読会／興福寺（10月17日）

年に一度の南円堂の特別開扉の日です。南円堂本尊不空罽索観音像前で、大般若経六百巻を転読し諸願成就の祈祷が行われます。

#### 釈迦念仏会／唐招提寺（10月21日～23日）

鎌倉期に、解脱上人（貞慶）が始めた800年来の伝統行事です。金亀舎利塔（きんきしゃりとう）におさめられた仏舎利を本尊として、早朝（午前4時）・昼（午後2時）・夜（午後6時）と、1日に三度の法要が礼堂（らいどう）で営まれます。

#### 正倉院展／奈良国立博物館（10月下旬～11月中旬予定）

正倉院に伝えられた宝物は普段は非公開となっていますが、年に1度、宝物の整理、調査、点検を兼ねて収蔵庫から運び出され、そのうちの一部分が、奈良国立博物館で特別展示されます。宝物には、聖武天皇遺愛の品や東大寺の法会に使用された法具などを中心に9,000点以上もの品々があります。そのなかには中国、ペルシャ、インドの工芸品など国際色豊かな品々も含まれています。

#### 秋のならまちナイトカルチャー／ならまちセンター（※10月27日～11月9日予定）

江戸時代から明治にかけての町家の面影を伝える「ならまち」で楽しく夜のひと時をすごしていただく催し物です。日替わりで伝統芸能の鑑賞や、週末の土曜日には工芸体験もお楽しみいただけます。

※10月29日・11月9日を除く時間：午後8時～9時

土曜日の工芸体験は午後6時～8時